

新ガッツだ おまかせくん!

小学校編 No.60

作 ロナウジーニョ太郎



連続企画

三浦梅園生涯展

豊後に生まれ豊後に生きた哲人三浦梅園

天文・地理・医学・経済などあらゆる学問を通じて自然と社会の真相をつきとめようとした梅園の生涯をたどる四回連続の企画展を開きます。すべての物事に疑問を抱いた少年時代から年代を追って梅園の足跡や学問の業績をたどることで、よりわかりやすい梅園像が浮かび上がるでしょう。各回テーマごとの講演会も開催する予定です。



企画展・講演会日程

- | | |
|---|--------------------|
| 第1回企画展 ……4/3(日)~5/27(金)
「若き日の三浦梅園」 | 第1回講演会
4月3日(日) |
| 第2回企画展 ……6/5(日)~7/22(金)
「条理開眼」 | 第2回講演会
6月5日(日) |
| 第3回企画展 ……8/7(日)~9/23(金)
「梅園と旅」 | 第3回講演会
8月7日(日) |
| 第4回企画展 ……10/8(土)~11/25(金)
「現代に生きる三浦梅園」 | 第4回講演会
10月8日(土) |
- ※講演会は「梅園の里」で開催します。時間は毎回10時30分からです。

■お問い合わせは下記まで

三浦梅園資料館
TEL(0978)64-6311 FAX(0978)64-6310
国東市文化財課
TEL(0978)72-2677 FAX(0978)72-2505

ミニ知識

「三浦梅園」という呼び名について

「三浦梅園」という呼び名について、「梅園」は正しい名ではないと言われています。確かに左の写真のように、梅園の自筆では「三浦晋安貞」と書いています。父親に付けてもらった名が「晋(すずむ)」「師にいただいた名が「安貞(あんてい)」でした。「梅園」というのは旧宅に隣接してあった私塾の名称です。それで塾生や近所の人々からは、「梅園の先生」「梅園先生」と親しく呼ばれていたようです。「三浦梅園」という呼び名が長い間使われ続けていて、私たちもその呼び名に親しみと尊敬の気持ちを含めて使っているのです。梅園の地元である安岐町の小・中学校では「梅園先生をたたえる歌」が永きにわたって歌われ続けています。歴史的な事実として、「三浦晋」「三浦安貞」という名であったことを確認しながら、「三浦梅園」という親しい呼び名も大切にしていきたいと考えています。

国東市文化財課

